

(シラバスNo.11)

科 目 名	ICT・情報資源活用特論	科目コード	24P-B3	
		科目群名	専門科目（B群）	
	Advanced Seminar on Utilization of ICT and Information Resources	必修／選択	選択	
		教職	小・中・高	
担当教員	横山 美明	単位数	2	

【実務内容（実務家教員の場合）】

小学校での教員・管理職（校長）として ICT 活用の推進を進めた経験のある教員が、教育実践研究の推進に必要な情報活用能力の向上を図るための指導を行う。

【授業概要】

本科目は、教育実践研究の土台となるインターネット上の各種情報資源の活用技法、ICT 活用技法の習得を目的とする。内容については、まず、「教育の情報化」に関する最近の動向、「教育情報活用」についての基本的事項について学び、教育実践研究の推進に必要な情報の効果的な検索方法について演習を行う。後半では、教育実践研究に資する Word、Excel、PowerPoint（動画活用を含む）等の活用方法及び生成 AI やテキストマイニングについての演習を行う。授業は、担当教員の講義、受講者による演習、質疑応答を通して進めていく。

なお、受講者の状況や人数等の状況により【授業計画】の内容や順番が変更になる場合がある。

【授業の到達目標】

教育実践研究に資するインターネット上の各種情報資源の活用技法、ICT 活用技法を理解し、自らの教育実践研究に活かすことができる。

【授業の形態】

メディア授業の実施（あり）

<授業の特徴>（主に実施に◎、実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	◎	基礎事項の説明やポイント解説
グループワーク・質疑	○	（受講者が多数の場合に実施）
演習	◎	毎回の課題への取組
プレゼンテーション	○	（必要に応じて実施）
制作		
その他 （ ）		

【授業計画】

回	内 容
1	オリエンテーション（授業の進め方、評価、「教育の情報化」に関する最近の動向の確認）
2	教育情報活用の基本的事項（講義）
3	情報検索の基本的事項（講義）、情報検索演習①（基本）
4	情報検索演習②（事実検索、図書検索、論文検索）
5	Word による教育実践論文作成演習①（本文、引用等）
6	Word による教育実践論文作成演習②（見出しの設定、目次の作成）
7	Excel による引用文献リスト作成演習
8	Excel によるデータ集計・分析演習
9	テキストマイニングの基本
10	テキストマイニング演習
11	PowerPoint による発表資料作成演習①（スライドの作成）
12	PowerPoint による発表資料作成演習②（ポスターの作成、動画の作成）
13	生成 AI と ChatGPT の基礎と活用

14	ポスター発表
15	まとめ
試験	
【履修上にあたっての準備】 ・本科目は、Windows 版のコンピュータを念頭に授業計画を立てており、Windows 版以外のコンピュータでは対応できない内容もある。<u>そのため、Windows 版以外のコンピュータで受講を希望する場合は、事前に担当教員と相談すること。</u> ・毎回、課題を提示するので予習・復習の時間をしっかり確保しておく。（参考までに、法令では、2 単位取得のためには 60 時間の予習・復習が必要と定められている。）	
【授業外学修（予習・復習）】 ・予習：必要な資料を読んでおく。 ・復習：授業時に指示した課題に取り組む。	
【評価方法】 ・毎回の課題提出（55%）・科目修得試験（45%）	
【教科書】 ・必要に応じて資料を配布する。	
【参考図書】 ・学習指導要領（小学校・中学校・高等学校）及び、総則編：文部科学省 ・「教育の情報化に関する手引-追補版-(令和 2 年 6 月)」：文部科学省 ・令和 6 年度版 情報通信白書：総務省編 ※その他、授業時に、適宜、紹介する。	